

14万3,196筆に込められた県民の願い届かず 県議会 「県民投票条例案」否決

☆賛成 16人（未来、リベラル、無所属）
★反対 36人（自民、公明、真政）

「再稼働の是非を県民投票で決める会」が直接請求を行った「県民投票条例案」が4月16日から3日間、県議会臨時会で審議・採決されました。

花角知事は『賛成』『反対』の二者択一の選択肢では、県民の多様な意見を把握できない」とした意見を付して本会議に提案。

自民、公明、真政（連合新潟推薦議員）の議員が、知事の意見への同調を柱に、「十分な知識を持ち得ない県民が県民投票で結論を出すのはふさわしくない」「SNSなどの根拠のない情報に惑わされ冷静な判断がなくなる恐れ」など、県民を愚弄する理由を並べ反対しました。

未来、リベラル、無所属の議員が「県民投票は主権者である県民の意思を確認し尊重する上で欠かせない仕組み」「請求者の熱意に応える県議会であるべきだ」等の賛成意見を述べるとともに、反対意見に対して具体的に反論しました。また、初日には請求代表者8人が力強い多様な意見陳述を行いました。

県民の意思を尊重せずして、だれのための知事や県議でしょうか？

県民投票で決める会
直ちに声明を発表！
4/18

「かつてない関心の高まりを
明日につなぐことを決意します」
— 県民投票条例案の否決を受けて —
*同封の別紙声明文をご覧ください。



【県議会を傍聴して】××××××××

県内各地から、そして長岡からも多くの人が詰めかけ、真剣に議論を見守りました。三日間とも県議会に駆け付けた人が何人も。自宅で見守った方も。みなさんの県民投票への感想や思いをぜひお寄せください。

県民が直接意思を表すことができる県民投票の機会を逃したのは、県民の大きな損失でした。しかも、私たち主権者が選んだ知事や県会議員によってです。

私は16日に行ってきましたがほぼ満席でした。花角知事は多様な意見を聞くそうですが、14万3196人以上の声を聞けるというのでしょうか。この人は、県民の意見・願いを聞く気はないんだと伝わってきた議会でした。

反対する議員の意見を聞いて私がどうにも納得いかなかったことが3つありました。

一つ目、住民投票は感情論に流される。二つ目、村上や山北の人は遠くて影響は少なく関心も薄いから同じ1票でいいのか。三つ目、原発のことは複雑だから県民は判断できない、というもの。県民を信頼していないんだと感じました。（田口）

原発再稼働の是非に、県民一人一人の意思を反映する機会を！

県民投票に反対した自民・公明・真政の議員は、県民投票をすれば再稼働反対が多数を占めるので原発再稼働が難しくなると恐れたのでしょうか。花角知事は県民の声は聞かず、市町村長との意見交換会や公聴会、意識調査などが県民の多様な意見を聞くことだと言いますが、そうでしょうか。国から新潟県に対し再稼働判断（二者択一）が迫られている中、主権者である県民一人一人の信を問う機会を必ず設けて！

5月のアオーレ前宣伝行動は5月11日（日）12時～12時30分 *ぜひご参加を

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第157号 2025年4月28日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707